

船舶インシデント調査報告書

平成27年8月6日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 庄司邦昭（部会長）

委員 小須田 敏

委員 根本美奈

インシデント種類	運航不能（舵故障）
発生日時	平成26年12月1日 11時55分ごろ
発生場所	福島県浪江町東方沖 小良ヶ浜灯台から真方位064°25海里付近 (概位 北緯37°32.96′ 東経141°30.00′)
インシデント調査の経過	平成26年12月2日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	油タンカー ゆうよう丸、3,789トン 137025、沖野海運株式会社 104.45m×16.00m×8.10m、鋼 ディーゼル機関、2,942kW、平成14年9月6日
乗組員等に関する情報	船長 男性 59歳 三級海技士（航海） 免許年月日 昭和55年3月17日 免状交付年月日 平成25年7月16日 免状有効期間満了日 平成30年9月4日
死傷者等	なし
損傷	なし
インシデントの経過	本船は、船長ほか11人が乗り組み、千葉県千葉港で積荷を行った後、船首約5.45m、船尾約6.85mの喫水で、平成26年11月30日青森県青森市青森港に向けて出港した。 本船は、主機を回転数毎分約197～198、プロペラのピッチ角を約14°～16°とし、対地速力約13.5ノットで浪江町東方沖を北北東進中、12月1日11時55分ごろ船尾方で異常音が発生し、1分間ほどおいて再度発生し、舵を切っていないにもかかわらず右転を開始した。 船長は、船橋当直を行っていたが、舵装置の異常を認めて直ちに船舶所有者の担当者に連絡した後、自動操舵から手動操舵に切り替えたり、操舵機室で非常操舵を行ったりしたが、舵角の指示が正常に動くものの舵が効かないことを認めた。 本船は、船長が舵装置の点検を行っている間、右転したり左転した

	<p>りを繰り返していたが、船長が航行不能と判断し、16時ごろ主機を停止した。</p> <p>本船は、来援したタグボートにえい航され、5日宮城県仙台塩釜港に入港した。</p> <p>本船は、仙台塩釜港で舵装置の点検が行われた結果、舵板の脱落が発見された。</p>
<p>気象・海象</p>	<p>気象：天気 雨、風向 南南西、風力 4、視界 良好</p> <p>海象：波向 南東、波高 約3m</p>
<p>その他の事項</p>	<p>本船は、本インシデントの約1週間前から、満載状態で航行中、船尾付近から何か物が転がるような音を発していた。</p> <p>船長は、本インシデント発生時、本船が何かに当たったような衝撃を感じなかった。</p> <p>本船は、平成24年9月の定期検査時に、船級協会立会いの下で舵板を取り外して舵板及びボルトの点検が、次は平成26年9月の中間検査時に、外観検査が行われたが、いずれも異状は発見されなかった。</p> <p>本船は、つり舵であり、船首尾方向長さ約86cm、左右方向長さ約108cm、厚さ約8.5cmの鍛鋼性の舵頭材下部フランジに舵本体の舵頭材取付部が8組の鍛鋼性ボルト及びナットで取り付けられていた。</p> <p>本インシデント後、ダイバーによる点検を実施したところ、舵頭材下部フランジの右舷側が切断して舵板と共に脱落し、左舷側ボルト全部が折損した状態であった。(図1参照)</p> <div data-bbox="598 1299 1388 1892" data-label="Diagram"> </div> <p>図1 舵頭材及び舵本体</p>
<p>分析 乗組員等の関与</p>	<p>不明</p>

<p>船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり 不明</p> <p>本船は、浪江町東方沖を北北東進中、舵頭材下部フランジの右舷側が切断及び舵頭材取付用左舷側ボルト全部が折損したことから、舵板が脱落して運航不能となったものと考えられる。</p> <p>本船は、約2年前の定期検査時、舵板を取り外して行われた点検で異状が発見されておらず、また、本インシデントの約2か月前に行われた中間検査時、外観からの検査でも異状が発見されていなかったことから、航行中、何らかの浮遊物が舵板に当たって舵頭材下部フランジの右舷側が切断及び舵頭材取付用左舷側ボルト全部が折損した可能性があると考えられるが、舵板が脱落しており、その状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本インシデントは、本船が、浪江町東方沖を北北東進中、舵頭材下部フランジの右舷側が切断及び舵頭材取付用左舷側ボルト全部が折損したため、舵板が脱落したことにより発生したものと考えられる。</p>